

End to Endで診断支援

3線ディフェンス



モデル・ライフサイクル



ガバナンス体制

モデル・リスク管理の "イマ"を可視化

モデル・リスク管理態勢高度化に向けた
現状分析に関わるEYサービスのご紹介

EY新日本有限責任監査法人
2025年11月

金融庁はモデル・リスク管理をルールベースではなく原則として提示し、各金融機関のリスク・プロファイルやモデル利用の実態に応じた柔軟な適用を前提に、態勢が実際に機能しているかを監督の焦点に据えています。

モデル・リスク管理の対象は規制内部モデルに限定されず、プライシング、信用・市場等の健全性目的モデルから、AMLや市場監視、財務報告で用いるモデルに至るまで広範であり、リスクをもたらし得る限り管理対象とする考え方に立脚します。

その基礎には、モデル(理論・仮定に基づきデータを処理して推定値・予測値・スコア等を出す定量的手法。入力や出力の一部が定性情報も含む)と、モデル・リスク(誤りや不適切な使用に起因する意思決定の悪影響)という明確な定義があります。

モデルは金融市場の単純化と仮定に依存するため、環境変化や想定外利用によって妥当性を失い得る——ゆえに統制の設計そのものが経営課題になります。

EYはモデル・リスク管理等に対するさまざまな業務を提供する専門家集団であり、内部統制実務に精通しています。EYグローバルネットワークを活用し、国内外での先進事例を踏まえた助言を行うことができます。モデル・リスク管理態勢高度化を検討する際には、ご連絡ください。

6. 内部監査 プログラム

- 3線におけるモデル・リスク管理

1. ガバナンス& コントロール

- モデル・リスク体制構築のために必要な意思決定

2. モデル・ インベントリー

- 対象とすべきモデルと管理すべき情報
- モデル・リスク格付における観点
- 適時性・網羅性を持った管理方法

モデル・リスク管理態
勢高度化に向けた
6つの視点

5. 第3者リソース の活用

- 外部リソース管理に必要な要件と満たすべき水準

3. モデル開発・ 承認・検証

- あるべき標準開発プロセス
- モデル承認の必要性和ポイント
- 検証でカバーすべき観点

4. モデル・リスク の継続的 モニタリング

- モニタリングにより担保すべきこと
- 環境急変時等に必要アクションプラン



The better the question. The better the answer. The better the world works.



Shape the future
with confidence

モデル・リスク管理態勢高度化支援サービス

モデル・リスクの高度化に必要なさまざまな支援を行っています。

1 モデル定義ならびに調査範囲の決定

- 現状業務で用いられている「モデル」を、網羅性は追求せず
にケースとして幅広に把握・分類
- ベンチマーク分析に十分な程度に、社内の所掌を考慮した
調査範囲を設定

2 ベンチマーク分析(GAP分析)

- FSAの原則案、SR11-7および他社事例等をベンチマーク
とした分析支援(ヒアリングや文書閲覧による)
- ギャップに係る重要度の識別の提案

3 リスク・アペタイトに基づき、対応事項・RACIの提案

- 調査結果をもとに、モデル・リスク・アペタイトの水準感の整
理、改善レベルとロードマップを検討
- 再現性や監査対応を意識した客観的なモデル定義の提案
- モデルオーナー、開発者、ユーザー、独立検証の責任分担
の提案

EYが考える3線管理における モデル・リスク管理のオーナーシップ

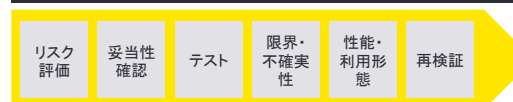
1st line of defense (モデル・ライフサイクル)

モデルオーナー、開発者、ユーザー



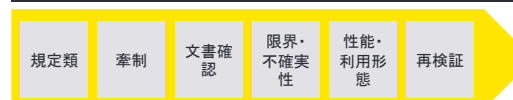
2nd line of defense (モデル検証とコントロール)

モデル・リスク管理



3rd line of defense (モデル・リスクの監視)

内部監査



サポートチーム



川口 琢磨
パートナー
EY新日本有限責任監査法人
takuma.kawaguchi@jp.ey.com



服部 諒介
シニアマネージャー
EY新日本有限責任監査法人
ryosuke.hattori@jp.ey.com

EY | Building a better working world

EYは、クライアント、EYのメンバー、社会、そして地球のために新たな価値を創
出するとともに、資本市場における信頼を確立していくことで、より良い社会の構
築を目指しています。

データ、AI、および先進テクノロジーの活用により、EYのチームはクライアントが
確信を持って未来を形づくるための支援を行い、現在、そして未来における喫緊
の課題への解決策を導き出します。

EYのチームの活動領域は、アシュアランス、コンサルティング、税務、ストラテ
ジー、トランザクションの全領域にわたります。蓄積した業界の知見やグローバル
に連携したさまざまな分野にわたるネットワーク、多様なエコシステムパートナーに
支えられ、150以上の国と地域でサービスを提供しています。

All in to shape the future with confidence.

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単
体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。
アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧
客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に
関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。
EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供する
ことはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EY新日本有限責任監査法人について

EY新日本有限責任監査法人は、EYの日本におけるメンバーファームであり、監査およ
び保証業務を中心に、アドバイザリーサービスなどを提供しています。詳しくは、
ey.com/ja_jp/about-us/ey-shinnihon-llcをご覧ください。

© 2026 Ernst & Young ShinNihon LLC.

All Rights Reserved.

ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門
的なアドバイスをを行うものではありません。EY新日本有限責任監査法人および他のEYメンバ
ーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負い
ません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp

Why EY

■ モデル・リスク管理のプロフェッショナル集団

■ グローバルな知見の提供

■ AIモデル等の先進事例の実績

- 国内外ネットワークに基づく深い知見と事例に基づくア
ドバイスを提供
- MMPというEYのデジタルツールを提供する等、モデル・
リスク管理のデジタル化支援に係る豊富な実績
- 国内外の規制当局やFintech協会等との連携を通じた
最新のRegTechナレッジを提供可能